

第2節 古代国家の形成



③西方の民族にはらくだの形の印があたえられた。

(福岡市博物館蔵)

④南方の民族には蛇の形の印があたえられた。



(中国歴史博物館蔵)



⑤金印「漢委(倭)奴国王」と書かれている。
(福岡県志賀島出土 福岡市博物館蔵)

5..... 中国の歴史書に 書かれた日本

◆古代中国の歴史書には、日本はどのような国として書かれていたのだろうか。



⑥3世紀ごろの東アジア

小国が分立した 日本が弥生時代のころ、すでに中国では、**紀元前後の日本** 秦や漢のように、皇帝をいただく強大な国家が広い地域を支配していた。その中国の歴史書には、日本の弥生時代のようなすを記録したものがいくつか残されている。

そのうち、漢の歴史書には、紀元前後のころの日本について、...5
「倭人(日本人)が100あまりの小国をつくっており、なかには中国へ使いを送る国もある」と書かれていた。また、同じく漢の歴史を記した別の書には、1世紀の中ごろ、「倭の奴国王が漢に使いを送り、皇帝が金印を授けた」と記されていた。この金印は、のちの江戸時代に、福岡県の志賀島で発見された。...10

「倭」も「奴」も見下した意味をふくんだ文字だった。中国の歴史書では、皇帝の権威を示すために、周辺の国を野蛮な国としてあつかったのである。

邪馬台国と 3世紀に入ると、中国では漢がほろび、魏・蜀・**卑弥呼**..... 呉の3国がたがいに争う時代になった。当時の...15
中国の歴史書には、3世紀前半ごろまでの日本について書かれた「魏志倭人伝」とよばれる記述がある。

そこには、「倭の国には邪馬台国という強国があり、30ほどの小国を従え、女王の卑弥呼がこれを治めていた」と記されていた。



④魏志倭人伝 中国の歴史書「三国志」の中の記述。(財団法人東洋文庫蔵)

倭人は、*帯方郡の南東の大海にある島に住んでいる。昔は百あまりの国々に分かれていた。現在では、使いを送ってくるのは三十か国である。(略)

倭国は、もとは男性を王としていた。男性が王となっていたのは七、八十年ほどであったが、国内は乱れて、攻め合いが何年も続いた。そこで合議して、一人の女性を選んで王とし、この女王を卑弥呼とよんだ。女王は宗教的な力で人々の心をつかんだ。年をとっても夫をもたず、弟がいて政治を助けた。女王になってから、彼女に会った人は少ない。めし使いの女性を千人も従え、ただ一人の男性が食事の世話をし、女王の言葉を伝えるために、その住まいに出入りしていた。宮殿や物見の台、とりてをい

かめしくつくって、いつも警備の者が武器をもって守っていた。

*中国の王朝が朝鮮半島に置いた郡で、中心地は現在のソウルあたり。

④魏志倭人伝に書かれている邪馬台国のようす(一部要約)

卑弥呼は神に仕え、まじないによって政治を行う不思議な力をもっていたという。また、卑弥呼が魏の都に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号と金印、銅鏡100枚などの贈り物を授かったことも書かれていた。

5... ただし、倭人伝の記述には不正確な内容も多く、邪馬台国の位置についても、近畿説と九州説が対立し、いまだに論争が続いている。

中国を中心と 弥生時代の日本のクニの指導者が、中国の皇帝から金印とともに、王の称号を授かったこと

10... とは何を意味するのだろうか。

中国では、漢の時代から、周辺諸国とのあいだに、君主と臣下の関係を結んできた。臣下の国は、中国皇帝の求めに応じて出兵したり、朝貢したりすることが義務づけられ、皇帝は朝貢した指導者に、その国の王の称号をあたえて支配権を認めた。

15... 卑弥呼の時代に、すでに日本は、こうした中国の皇帝を中心とする東アジアのきびしい国際関係の中に組みこまれていたと考えられる。



④黒塚古墳(奈良県)から大量に出土した銅鏡。銅鏡の分布などを手がかりに邪馬台国の位置を探る試みもある。

①貢ぎ物をささげること。



中国の歴史書に書かれている限りでの弥生時代の日本のようすを、年表にまとめてみよう。